



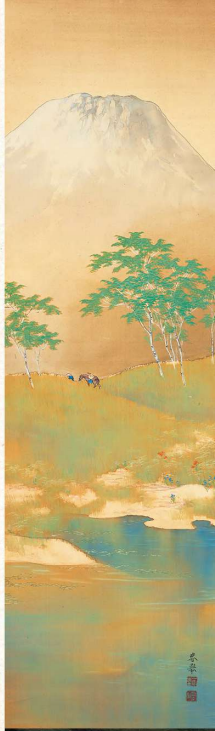
# 前田利為

## 春雨に 真珠を みた人



「春雨に真珠をみた人」とは、前田利為が蜘蛛の巣に宿る雨粒を写真に収め、アルバム台紙に「綾真珠」と記したことに由来します。本展では、その繊細な感性と美意識に着目し、利為のコレクションを紹介します。

前田家の近代美術コレクション



François Pompon  
フランソワ・ボンボン(1930年)

2021[令和3]年

2月13日(土) - 3月21日(日) 目黒区美術館

主催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館  
 特別協力：公益財団法人前田育徳会 / 助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団  
 観覧料：一般800円(600円) / 大高生・65歳以上600円(500円)  
 ◎障害がいのある方とその付添者1名は無料、( )内は20人以上の割引料金  
 ◎目黒区在住・在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります(他の割引との併用はできません)

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36  
 開館時間：10:00-18:00 [入館は17:30まで] 休館日：月曜日  
 tel. 03-3714-1201 / <https://www.mmat.jp>  
 メルマガ会員登録中▷<https://service.sugumail.com/mmat/>



本展では、前田家第16代当主、前田利為の収集した近代美術コレクションを紹介します。1900(明治33)年に前田侯爵家当主の座を継承した利為は、侯爵として、軍人として、4度のヨーロッパ赴任を含む多忙な公務のかたわら、展覧会を巡り、美術家のアトリエを訪れて美術品を収集しました。本展では、初公開となる作品を含めて、「春雨に真珠をみた人」、利為の愛した前田家の近代美術コレクションの多様な魅力に触れて頂きたいと思ひます。

### 利為の愛した美術品

1910(明治43)年、明治天皇の行幸を新築の前田家本邸(文京区)に迎える準備として、利為は西洋絵画24点の購入を決めました。国内外にわたる美術品収集は、この頃から始まります。美術館の設立をも考えていた利為は、自ら展覧会などをめぐり、作品を収集しました。本展では、1917(大正6)年に再興第4回日本美術院展で出品されて以来、初めて公開される牛田雞村《鎌倉の一日》など、優れたコレクションの数々をご紹介します。



アルベール・ギョーマン《湖水図》1894年



エドモン・アマン＝ジャン《婦女弾琴図》1922年

### 前田家の歴史と近代美術コレクション

利為は、加賀藩主であった先祖にまつわる事跡、彼自身が当主として経験した事跡など、前田家にまつわる歴史的な事件を一流の画家に描かせました。大名家出身の華族である前田家のアイデンティティを、それらの作品によって示し、後世に伝えていくことは、彼にとってひとつの使命だったのです。



牛田雞村《鎌倉の一日》1917(大正6)年(部分)【初公開】



川邊御楯《末森扶援画巻》(部分) 1903(明治36)年



下村観山《臨幸画巻》(部分) 1931(昭和6)年

### 駒場邸での暮らし

駒場(目黒区)の地に現存する旧前田家本邸(重要文化財)は、東京大学との土地交換によって前田家が本郷を離れた1926(大正15)年に着工し、1929(昭和4)年に洋館、1930(昭和5)年に和館が完成しました。目黒区美術館では、2009(平成21)年からこの本邸の建築を鑑賞するツアーを開催し、その魅力を紹介してきました。このご縁にちなみ、久保田金僊《駒場御本邸画帖》など、駒場邸での暮らしを偲ばせる作品や資料をご紹介します。



久保田金僊《駒場御本邸画帖》



久保田金僊《駒場御本邸画帖》1940(昭和15)年(15面のうち1面)【初公開】

※本展に出品される作品はすべて公益財団法人前田育徳会が所蔵しています。

関連催事	対面形式でのイベントは予定しておりません。オンラインでの展覧会紹介など、最新の情報については美術館ウェブサイト ( <a href="https://www.mmat.jp/">https://www.mmat.jp/</a> ) にてご確認ください。
来館時のご案内	新型コロナウイルス感染症対策として、来館される折には下記をお願いしておりますので、ご協力をお願い致します。 ・美術館入口での手指消毒 ・館内でのマスク着用 ※感染拡大状況によっては、上記以外の対応が必要となる可能性があります。最新の情報については美術館ウェブサイト ( <a href="https://www.mmat.jp/">https://www.mmat.jp/</a> ) にてご確認ください。
交通情報	▷ 山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分 ▷ 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分 ▷ 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分 ※目黒区民センター隣接 ※当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなど公共交通機関をご利用ください。 ※お車でのご越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場(有料)をご利用ください。



表の作品  
 (左上から時計回り)

ルイ＝ジョゼフ＝ラファエル・コラン《庭の隅》1895年、アルベール＝シャルル・ルブール《河景》、川邊御楯《末森扶援画巻》(部分) 1903(明治36)年、ピエール＝オーギュスト・ルノワール《アネモネ》、西村五雲《敗荷蓀翠図》1935(昭和10)年、山本春挙《富士裾野図》1927(昭和2)年、ピーテル＝フランシス・ピーテルス《月光》、ヴィクトール＝ヴィオレル＝デュク《小河図》、久保田金僊《駒場御本邸図》1929(昭和4)年以降、竹内栖鳳《南支風色》1926(大正15)年、牛田雞村《鎌倉の一日》(部分) 1917(大正6)年、[三連リキュール瓶]、下村観山《松雲公(前田綱紀)》1906(明治39)年、小杉放菴《銀瓶》1940(昭和15)年以前、岡見富雄《夏山風景》、横山大観《秋景》1926(大正15)年以前、グザヴィエ・プリカール《少女海水浴図》1924年以前、郵田丹陵《高德公赴末森城之救援図》